

第 42 号

http://www.nisshiren.com/

あ〜す・れっく

= 日資連界報 =

日本再生資源事業協同組合連合会
〒101-0061 千代田区三崎町 2-21-1
TEL 03 (3263) 9101
発行人 紺野 武郎
編集人 星 本 昭 次
印刷 株式会社資源新報社

本省認可に貴重な一歩

全国組合員対象に初の研修会

平成十九年十一月三日

(土) 四日(日)の両日
東京都内「東京ガーデンパレス」において、日資連主催の全国研修会が開催された。今回の全国研修会は全国中小企業団体中央会(全中)の助成により、日資連としては初めての試み。全国から九〇名強の仲間が参加した。

今回の研修会には日資連が現在すすめている本省認可取得に向けて、業界を取り巻く広範な知識や情報を共有し、それを更なる組織整備、組織強化につなげていくという趣旨のもとに行われた。

谷中勝典専務理事(研
修会実行委員長)による力強い開会の挨拶の後、飯田俊夫氏が司会進行を務め、研修会がスタートした。

研修会第一日目

研修会(研修会実行委員長)による力強い開会の挨拶の後、飯田俊夫氏が司会進行を務め、研修会がスタートした。

研修会(研修会実行委員長)による力強い開会の挨拶の後、飯田俊夫氏が司会進行を務め、研修会がスタートした。

研修会(研修会実行委員長)による力強い開会の挨拶の後、飯田俊夫氏が司会進行を務め、研修会がスタートした。

研修会(研修会実行委員長)による力強い開会の挨拶の後、飯田俊夫氏が司会進行を務め、研修会がスタートした。

研修会(研修会実行委員長)による力強い開会の挨拶の後、飯田俊夫氏が司会進行を務め、研修会がスタートした。

研修会(研修会実行委員長)による力強い開会の挨拶の後、飯田俊夫氏が司会進行を務め、研修会がスタートした。

研修会(研修会実行委員長)による力強い開会の挨拶の後、飯田俊夫氏が司会進行を務め、研修会がスタートした。

研修会(研修会実行委員長)による力強い開会の挨拶の後、飯田俊夫氏が司会進行を務め、研修会がスタートした。

研修会(研修会実行委員長)による力強い開会の挨拶の後、飯田俊夫氏が司会進行を務め、研修会がスタートした。

研修会(研修会実行委員長)による力強い開会の挨拶の後、飯田俊夫氏が司会進行を務め、研修会がスタートした。

研修会(研修会実行委員長)による力強い開会の挨拶の後、飯田俊夫氏が司会進行を務め、研修会がスタートした。

研修会(研修会実行委員長)による力強い開会の挨拶の後、飯田俊夫氏が司会進行を務め、研修会がスタートした。

研修会(研修会実行委員長)による力強い開会の挨拶の後、飯田俊夫氏が司会進行を務め、研修会がスタートした。

研修会(研修会実行委員長)による力強い開会の挨拶の後、飯田俊夫氏が司会進行を務め、研修会がスタートした。

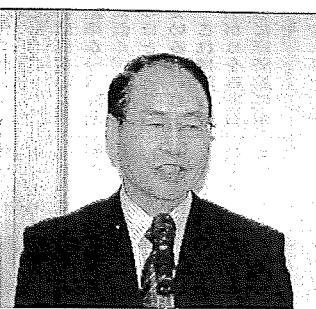
研修会(研修会実行委員長)による力強い開会の挨拶の後、飯田俊夫氏が司会進行を務め、研修会がスタートした。

研修会(研修会実行委員長)による力強い開会の挨拶の後、飯田俊夫氏が司会進行を務め、研修会がスタートした。

研修会(研修会実行委員長)による力強い開会の挨拶の後、飯田俊夫氏が司会進行を務め、研修会がスタートした。

研修会(研修会実行委員長)による力強い開会の挨拶の後、飯田俊夫氏が司会進行を務め、研修会がスタートした。

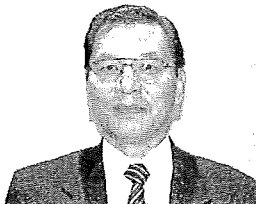
団体中央



開会にあたり挨拶する紺野会長



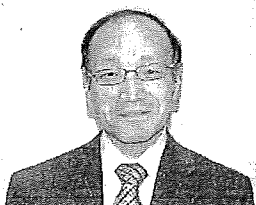
衆議院議員・リサイクルシステム議員懇談会幹事
長・大島章宏先生



経済産業省リサイクル推進課長・安藤晴彦先生



社団法人東京部リサイクル事業協会企画担当理事・富所富男先生



古紙問題市民行動ネットワーク代表・中村正子先生



全国中小企業団体中央会・連携支援部・主幹・及川勝先生



千里金蘭大学・人間社会学部教授・吉村哲彦先生



研修会第二日目

の条件になっている。先般、東北資源の理事会にお伺いして、なんとか東北六県で正式メンバーを出して欲しいとお願ひして、好感触を得ています。今回の全国研修会では日資連が今後、理論的に正しい路線を歩むための重要な勉強会になる。」と今回の全国研修会の意義を強調した。研修会の内容は次の通り。

トワーク代表・中村正子先生
二大製紙メーカーの再生紙戦略の比較をベースに、問題の所在を探る貴重なお話し。実際に日本製紙と王子製紙にインタビューされて、問題点を引き出すといういかにも中村先生らしい手法が際立っていたようだ。最終的には環境対応紙への方針は日本製紙に比べて王子製紙の方が説得力があったと位置づけられておられた。この問題はなお、検証すべき重要な論点のようには思えた。

認定制度の社会的意義及びリサイクル化証明書の社会的影響。千葉商書に今後の課題として

新規定業者の加入促進、優遇措置の確立、モデル企業の表彰や競争促進による認定業者のモラル促進、リデュースの手法の提言といった具体的な行動指針を示された。

再生資源ビジネスの新展開という項目で「マーケティング」「ブランド化」「自助努力」「啓蒙」といった、これまで我が国が思いもなかったような概念を提起され、業界はもっとも進化しなければならぬのだと叱咤激励されたように感じた。

研修会第二日目

の条件になっている。先般、東北資源の理事会にお伺いして、なんとか東北六県で正式メンバーを出して欲しいとお願ひして、好感触を得ています。今回の全国研修会では日資連が今後、理論的に正しい路線を歩むための重要な勉強会になる。」と今回の全国研修会の意義を強調した。研修会の内容は次の通り。

トワーク代表・中村正子先生
二大製紙メーカーの再生紙戦略の比較をベースに、問題の所在を探る貴重なお話し。実際に日本製紙と王子製紙にインタビューされて、問題点を引き出すといういかにも中村先生らしい手法が際立っていたようだ。最終的には環境対応紙への方針は日本製紙に比べて王子製紙の方が説得力があったと位置づけられておられた。この問題はなお、検証すべき重要な論点のようには思えた。

認定制度の社会的意義及びリサイクル化証明書の社会的影響。千葉商書に今後の課題として

新規定業者の加入促進、優遇措置の確立、モデル企業の表彰や競争促進による認定業者のモラル促進、リデュースの手法の提言といった具体的な行動指針を示された。

再生資源ビジネスの新展開という項目で「マーケティング」「ブランド化」「自助努力」「啓蒙」といった、これまで我が国が思いもなかったような概念を提起され、業界はもっとも進化しなければならぬのだと叱咤激励されたように感じた。

研修会第二日目

の条件になっている。先般、東北資源の理事会にお伺いして、なんとか東北六県で正式メンバーを出して欲しいとお願ひして、好感触を得ています。今回の全国研修会では日資連が今後、理論的に正しい路線を歩むための重要な勉強会になる。」と今回の全国研修会の意義を強調した。研修会の内容は次の通り。

トワーク代表・中村正子先生
二大製紙メーカーの再生紙戦略の比較をベースに、問題の所在を探る貴重なお話し。実際に日本製紙と王子製紙にインタビューされて、問題点を引き出すといういかにも中村先生らしい手法が際立っていたようだ。最終的には環境対応紙への方針は日本製紙に比べて王子製紙の方が説得力があったと位置づけられておられた。この問題はなお、検証すべき重要な論点のようには思えた。

認定制度の社会的意義及びリサイクル化証明書の社会的影響。千葉商書に今後の課題として

新規定業者の加入促進、優遇措置の確立、モデル企業の表彰や競争促進による認定業者のモラル促進、リデュースの手法の提言といった具体的な行動指針を示された。

再生資源ビジネスの新展開という項目で「マーケティング」「ブランド化」「自助努力」「啓蒙」といった、これまで我が国が思いもなかったような概念を提起され、業界はもっとも進化しなければならぬのだと叱咤激励されたように感じた。

日資連研修会に参加して

新エネ拡大も課題 資源エネルギー施策の将来像示し

大田章宏先生の講演を聞いて

第一日最初の講義は茨城県県議会を経て民主党衆議院議員に当選し、国会では民主党商工委員会筆頭理事を務めている大田章宏先生でした。

平成九年四月に容器包装リサイクル法が施行されたのを機にリサイクルシステム議員懇談会を超党派で立ち上げ、現経済産業大臣甘利先生と共に資源リサイクル分野の国策をリードしている方のお話とあって、一〇〇名を超える参加者の熱い視線が集まりました。

前日、福田首相が小沢民主党主が大連立を持ちかけたというニュースが流れたばかりで、その裏話もお聞きしたかったのですが講演の趣旨ではないということで簡単に自己紹介の後本題に入りました。

経産省のリフレット「日本のエネルギー2007」をテキストに講義が進みました。真つ先に指摘したのは日本のエネルギー自給率が一八年前後と非常に低く、またエネルギーのほとんどを石油に頼っているということでした。これは昨今の原油の値上がりをもみてもわかるように経済的にも

エネルギー政策という点でも問題があるということです。京都議定書に沿って温室効果ガスの排出削減を図るためにも新エネルギー(風力発電や燃料電池等)や原子力発電の拡大が必要とのことでした。ただ新エネルギーや原子力発電の活用にも様々な問題はあつて、税金を投入し強引に進めるだけではだめだそうです。フランスにおける水素発電自動車

の例を出されしかりとしたビジョンをもつて資源・エネルギー政策を進めていくことの重要性を

強調していました。それが我が国のエネルギー自給率を上げる、CO2削減・地球温暖化防止にも貢献する道であると語られました。

講演の最後に「冗談ですが」と前置きしながら、

「エネルギー政策という点でも問題がある」とのこと

を述べた。

資源省のエネルギー2007をテキストに講義が進みました。

真つ先に指摘したのは日本のエネルギー自給率が一八年前後と非常に低く、またエネルギーのほとんどを石油に頼っているということでした。

これは昨今の原油の値上がりをもみてもわかるように経済的にも

エネルギー政策という点でも問題がある」とのこと

本省認可への期待示す 今後のリサイクル施策の動向

リサイクルシステム議員懇談会幹事長、大田章宏衆議院議員による講演に引き続き行われた、安藤晴彦経済産業省産業技術環境局リサイクル推進課長の講演は、パワーポイントを使用し、参加者に解かりやすく「リサイクルに関する国の動向」をタイトルに講演が行われた。安藤氏は大田議員とも古くからの交流が有

るといふ事もあり、今後の大田議員の活躍を期待するエールを送りながらの始まりとなった。

まず、我々の業界の存在を大きく捉え、リサイクルの動きの内において、静脈の重要性を深く意識して下さりリサイクルの仕組を考えると共に私達が理解する事により、ひとつのブランドとしてのビジネスチャンスとして

成り得るとの話が語られた。又、今回日資連の全国組織の達成により本省認可取得に対しての期待を熱く述べた。

資料に沿った講演については、まず、今後の資源を考えた現在の金属については二〇五〇年には埋蔵量を考えると無になるというショッキングな内容により、改めてリサイクルの重要性、資源の有効

利用法を提案され、安藤氏自らサッカーのファンらしく、鹿島アントラーズの協力を元に、サッカー場に於いての資源のリユースを通じてリユース教育の実践、ローソンにて販売されている用紙になった野球バットにより作成された箸、容器包装の合理化によるレジ袋、カレット等の廃ガラスを利用して作られた路面・壁等美しさを兼ね備えたリサイクル、又、パレットにおいての資源有効利用としてリターンブル鉄製パレットの使用による木材使用量の大幅削減の提案等世

業界の提言と実行で 市民、行政との新たな関係性を

清掃局出身の富所先生のお話は、身にしみるお話であった。

資源業界は長期にわたる価格低迷により塗炭の

利用法を提案され、安藤氏自らサッカーのファンらしく、鹿島アントラーズの協力を元に、サッカー場に於いての資源のリユースを通じてリユース教育の実践、ローソンにて販売されている用紙になった野球バットにより作成された箸、容器包装の合理化によるレジ袋、カレット等の廃ガラスを利用して作られた路面・壁等美しさを兼ね備えたリサイクル、又、パレットにおいての資源有効利用としてリターンブル鉄製パレットの使用による木材使用量の大幅削減の提案等世

利用法を提案され、安藤氏自らサッカーのファンらしく、鹿島アントラーズの協力を元に、サッカー場に於いての資源のリユースを通じてリユース教育の実践、ローソンにて販売されている用紙になった野球バットにより作成された箸、容器包装の合理化によるレジ袋、カレット等の廃ガラスを利用して作られた路面・壁等美しさを兼ね備えたリサイクル、又、パレットにおいての資源有効利用としてリターンブル鉄製パレットの使用による木材使用量の大幅削減の提案等世

利用法を提案され、安藤氏自らサッカーのファンらしく、鹿島アントラーズの協力を元に、サッカー場に於いての資源のリユースを通じてリユース教育の実践、ローソンにて販売されている用紙になった野球バットにより作成された箸、容器包装の合理化によるレジ袋、カレット等の廃ガラスを利用して作られた路面・壁等美しさを兼ね備えたリサイクル、又、パレットにおいての資源有効利用としてリターンブル鉄製パレットの使用による木材使用量の大幅削減の提案等世

利用法を提案され、安藤氏自らサッカーのファンらしく、鹿島アントラーズの協力を元に、サッカー場に於いての資源のリユースを通じてリユース教育の実践、ローソンにて販売されている用紙になった野球バットにより作成された箸、容器包装の合理化によるレジ袋、カレット等の廃ガラスを利用して作られた路面・壁等美しさを兼ね備えたリサイクル、又、パレットにおいての資源有効利用としてリターンブル鉄製パレットの使用による木材使用量の大幅削減の提案等世

利用法を提案され、安藤氏自らサッカーのファンらしく、鹿島アントラーズの協力を元に、サッカー場に於いての資源のリユースを通じてリユース教育の実践、ローソンにて販売されている用紙になった野球バットにより作成された箸、容器包装の合理化によるレジ袋、カレット等の廃ガラスを利用して作られた路面・壁等美しさを兼ね備えたリサイクル、又、パレットにおいての資源有効利用としてリターンブル鉄製パレットの使用による木材使用量の大幅削減の提案等世

利用法を提案され、安藤氏自らサッカーのファンらしく、鹿島アントラーズの協力を元に、サッカー場に於いての資源のリユースを通じてリユース教育の実践、ローソンにて販売されている用紙になった野球バットにより作成された箸、容器包装の合理化によるレジ袋、カレット等の廃ガラスを利用して作られた路面・壁等美しさを兼ね備えたリサイクル、又、パレットにおいての資源有効利用としてリターンブル鉄製パレットの使用による木材使用量の大幅削減の提案等世

利用法を提案され、安藤氏自らサッカーのファンらしく、鹿島アントラーズの協力を元に、サッカー場に於いての資源のリユースを通じてリユース教育の実践、ローソンにて販売されている用紙になった野球バットにより作成された箸、容器包装の合理化によるレジ袋、カレット等の廃ガラスを利用して作られた路面・壁等美しさを兼ね備えたリサイクル、又、パレットにおいての資源有効利用としてリターンブル鉄製パレットの使用による木材使用量の大幅削減の提案等世

利用法を提案され、安藤氏自らサッカーのファンらしく、鹿島アントラーズの協力を元に、サッカー場に於いての資源のリユースを通じてリユース教育の実践、ローソンにて販売されている用紙になった野球バットにより作成された箸、容器包装の合理化によるレジ袋、カレット等の廃ガラスを利用して作られた路面・壁等美しさを兼ね備えたリサイクル、又、パレットにおいての資源有効利用としてリターンブル鉄製パレットの使用による木材使用量の大幅削減の提案等世

公認マーク化議論も 認定制度・リ化証の社会的意義

毒島先生の講義中、ふと思いつくトピックが

あった。認定制度とリサイクル化証明書の社会的意義というテーマに繋がった。それは、宮崎県の土産物に付けている東国原マークのことである。このマークが付くと土産物の売上が一〇倍近く違うというのだ。県の公認や

及川さんのお話では、全国組織組合の取り組みの例として、全国仮設安全事業協同組合の紹介を通して全国組織としての日資連が当面する課題について様々なセッションを頂きました。それは組織の機能を円滑に図り、全国会員のコミュニケーションと連帯感が欠け

ない日資連憲章なるものの制定も不可欠であろうと御提案頂きました。全国組織として自らの社会的存在価値をアピールしていく手段として上記組合の品質管理及び全国統一基準が大前提で有ることもわかりました。そういった意味でも日資連の認定制度のもとであるリサイクル化証明書も

排出者に対して上記条件を満たしてこそ有効な有効な手段で有るということとを再確認致しました。

数年間に渡った日資連の改革の大きな二本の柱である、認定制度と経産省の認可に、何マイルの距離の移動と、延べ数百人の英知を結集させるた

懸念を解消すると期待されるバイオエタノール製造プラント。

RITE菌を使って古紙シュレグダー、古紙禁忌品、中古衣料を原料とする画期的なプロジェクト。

いずれも再生資源業界にとって視点を広く持てとのカルチャーショックとなるお話でありました。

認定制度・リ化証の社会的意義

毒島先生の講義中、ふと思いつくトピックがあった。認定制度とリサイクル化証明書の社会的意義というテーマに繋がった。それは、宮崎県の土産物に付けている東国原マークのことである。このマークが付くと土産物の売上が一〇倍近く違うというのだ。県の公認や

及川さんのお話では、全国組織組合の取り組みの例として、全国仮設安全事業協同組合の紹介を通して全国組織としての日資連が当面する課題について様々なセッションを頂きました。それは組織の機能を円滑に図り、全国会員のコミュニケーションと連帯感が欠け

ない日資連憲章なるものの制定も不可欠であろうと御提案頂きました。全国組織として自らの社会的存在価値をアピールしていく手段として上記組合の品質管理及び全国統一基準が大前提で有ることもわかりました。そういった意味でも日資連の認定制度のもとであるリサイクル化証明書も

排出者に対して上記条件を満たしてこそ有効な有効な手段で有るということとを再確認致しました。

数年間に渡った日資連の改革の大きな二本の柱である、認定制度と経産省の認可に、何マイルの距離の移動と、延べ数百人の英知を結集させるた

懸念を解消すると期待されるバイオエタノール製造プラント。

RITE菌を使って古紙シュレグダー、古紙禁忌品、中古衣料を原料とする画期的なプロジェクト。

さて当日配布されたアンケートについて回答の多い順に報告してみます。

①勉強になりました

②研修会を継続してほしい

③リサイクルに関する国の動向

④海外を含めたマーケットの近況と市況

⑤スケジューリングがきつい、椅子が狭い

以上がベスト5でした。

アンケートを踏まえ来年も開催出来るように頑張りたいと思っていますので期待して下さい。

(アンケート回答率八一・四%)

(星本昭次)

認定制度・リ化証の進捗状況

「認定制度の運営とリサイクル化証明書の使用」の三人のお話を聞いてみて改めて、会長を始めとした担当役員のご苦勞を知った。

数年間に渡った日資連の改革の大きな二本の柱である、認定制度と経産省の認可に、何マイルの距離の移動と、延べ数百人の英知を結集させるた

懸念を解消すると期待されるバイオエタノール製造プラント。

RITE菌を使って古紙シュレグダー、古紙禁忌品、中古衣料を原料とする画期的なプロジェクト。

いずれも再生資源業界にとって視点を広く持てとのカルチャーショックとなるお話でありました。

認定制度・リ化証の進捗状況

「認定制度の運営とリサイクル化証明書の使用」の三人のお話を聞いてみて改めて、会長を始めとした担当役員のご苦勞を知った。

数年間に渡った日資連の改革の大きな二本の柱である、認定制度と経産省の認可に、何マイルの距離の移動と、延べ数百人の英知を結集させるた

懸念を解消すると期待されるバイオエタノール製造プラント。

RITE菌を使って古紙シュレグダー、古紙禁忌品、中古衣料を原料とする画期的なプロジェクト。

いずれも再生資源業界にとって視点を広く持てとのカルチャーショックとなるお話でありました。

認定制度・リ化証の進捗状況

「認定制度の運営とリサイクル化証明書の使用」の三人のお話を聞いてみて改めて、会長を始めとした担当役員のご苦勞を知った。

数年間に渡った日資連の改革の大きな二本の柱である、認定制度と経産省の認可に、何マイルの距離の移動と、延べ数百人の英知を結集させるた

懸念を解消すると期待されるバイオエタノール製造プラント。

RITE菌を使って古紙シュレグダー、古紙禁忌品、中古衣料を原料とする画期的なプロジェクト。

いずれも再生資源業界にとって視点を広く持てとのカルチャーショックとなるお話でありました。

認定制度・リ化証の進捗状況

「認定制度の運営とリサイクル化証明書の使用」の三人のお話を聞いてみて改めて、会長を始めとした担当役員のご苦勞を知った。

数年間に渡った日資連の改革の大きな二本の柱である、認定制度と経産省の認可に、何マイルの距離の移動と、延べ数百人の英知を結集させるた

懸念を解消すると期待されるバイオエタノール製造プラント。

RITE菌を使って古紙シュレグダー、古紙禁忌品、中古衣料を原料とする画期的なプロジェクト。

いずれも再生資源業界にとって視点を広く持てとのカルチャーショックとなるお話でありました。

認定制度・リ化証の進捗状況

「認定制度の運営とリサイクル化証明書の使用」の三人のお話を聞いてみて改めて、会長を始めとした担当役員のご苦勞を知った。

災害支援の在り方を模索 中越沖地震の被災地を視察

広報委員会では去る十月一日に中越沖地震の被災地である新潟県柏崎市を訪ねた。当日は関東資源回収組合連合会の総会の翌日ではあったが、総会開催地が関越道渋川インターより一五分程にある伊香保温泉で開催されたため車で新潟への移動が便利であるとの理由からだった。

同行したのは群馬県再生資源事業協同組合連合会の森岡氏、尾林氏、新潟県資源回収組合連合会の坂上会長ら四名。事前に坂上会長に各方面より情報の提供を頂き視察にこぎ着けたわけであるが、

なぜこのような視察が行われたか事前に報告しておきたい。

中越沖地震の直後、日資連で出来る災害支援はないものか、阪神淡路、中越地震、今回と義援金を集め送るだけではないのか、自分達の地域で大災害が発生した場合にどんな支援が必要なのか、また、資源業者として出来る災害支援は無いものか、と様々な意見が理事会に出され、とにかく視察に行こうと、広報委員会に白羽の矢が向けられた。

広報委員会の中で検討を重ね発生からしばらく経ってしまいましたが、決行することが出来ました。さて、当日は朝八時にロビーに集合、事前打合せを開始。坂上会長との待ち合わせ場所、時間、被災視察目的の地の確認など最後にビデオカメラの取扱説明をして試し撮りを始めたら電池切れの表示、前日に充電しておいたはずが、後で分かったのですがバッテリーの寿命だったようです。先が思いやられる。

一路新潟へ、北陸道を柏崎へと車を進める、北陸道一車を進めると一〇分位走ったところで道路脇に入り店員さんより情報収集集をする。倒壊の多かった地域を尋ねると、近くであるとの事、場所を教えてもらう。また、お店の被害状況を尋ねるとほとんど無かったと聞かされる。確かに被災の多かった地域と隣接しているの

にこの先災害復旧の速度規制、車線規制の表示がされている。しばらく走ると車が急ブレーキを掛けるその瞬間車が跳びはねた。高速道路の下を横切るコンクリートのガードが路面より三〇センチ近く盛り上がり、柏崎インターへ到着したのが待ち合わせ時間の一時間前である、下見がてら市内へ出る。市内に近づくとそれと異なる、近づくにつれその異変に気づく、マンホールは盛り上がり、縁石もせり上がり、道路脇に転がっているように見える。トイタイムにコンビニへが、倒壊したような空気が、倒壊現場地区へ向かう

スペースも無ければ、それを伺わせるような様子もなく、坂上会長との待ち合わせ場所へ戻り、合流し今後のスケジュールと昼食を兼ね午後視察へ向かう。午後一番は柏崎市クリーンセンターである。

突然の訪問にもかかわらず出迎えてくれたセンターの課長さんや係長さん本当にありがたうございました。

センターでのお話は、煙突の倒壊危険のための操業停止と、現在は布類や畳など屋外の保管に適さないゴミをセンター内に保管しているとの事。また震災直後はライフライン確保が最重要視され電気、道路、水道などの復旧を優先、資源ゴミ関係は八月いっぱい収集を取り止めたとの事でした。また、資源ゴミ収集に携わっていた方達はその期間災害ゴミの収集に

容を変えて作業を行っていたとの事でした。

私達が災害復旧活動を行うにあたりどうすればと尋ねたところ、手を上げるのは被災当日より二週間程度、自分達に必要の材料、人員、期間に応えるのか申し出て欲しいとの事でした。そして支援者側が仕事を選ぶことは特別な業者以外出来ないだろうとの事でした。

さて、最後の視察先であるU商店へ。U商店はクリーンセンターのすぐ西側でセンター敷地と道路一本を隔て隣接している。皆さんもテレビで見たようにセンターの煙突が傾いた方向に位置しているのがU商店である。お訪ねし、お話を伺うと建物や機械には被害はなく通された事務所の壁にひびが入った程度だと言います。日資連の災害支援システムの構築に役立てて頂ければ幸いです。(星本昭次)

組織拡充策の成果も 関資連が第54回総会盛大に

関東資源回収組合連合会(細田弘弘会長)は、このほど、群馬県組合の設置により、伊香保温泉・ホテル小暮を会場に第五十四回の通常総会を開催した。一都六県組合代表のほか、長野県資源回収事業協同組合が出席、盛大な催しとなった。

課長と日資連顧問の秋元司参議院議員、読売新聞東京本社販売開発部次長の佐々木平氏ほか多数が出席した。

議事に先立ち、細田会長に代わって上岡群資連会長が開会の挨拶を述べた。

「関資連はこれまで一都六県体制でしたが、関東経産局への対応を強化するため山梨、新潟、長

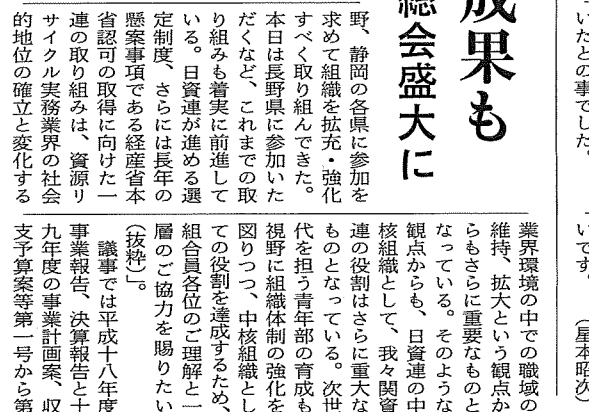
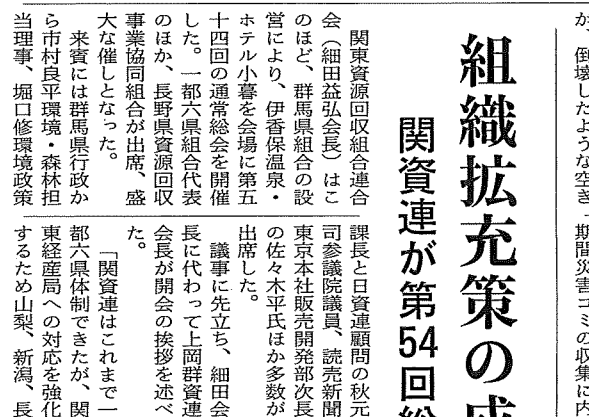
野、静岡の各県に参加を求めて組織を拡充・強化すべく取り組んできた。本日は長野県に参加したなど、これまでの取り組みも着実に前進してきている。日資連が進める選定制度、さらには長年の懸案事項である経産省本省認可の取得に向けた一連の取り組みは、資源リサイクル実務業界の社会的地位の確立と変化する

一つ目は煙突の傾いた方向にちょうどU商店が位置し、倒壊すれば事務所まで煙突の先端が到達すること、二つ目はU商店前の道路がU商店前西三〇メートル程先で完全陥没し四メートル程の段差ができて通行止めの規制がかけられてしまった事が最大の被害であると嘆いていました。

様々なお話を聞く中で今回の被害は老朽化した建物に被害が多く、地質上の問題が大きく作用したように思えました。今回視察に同行頂いた坂上会長、取材に応じて頂きました方々、広報委員会の皆様に厚くお礼申し上げます。

最後になりましたが、今回の視察は紙面では紹介出来ない事も理事会に報告していきます。日資連の災害支援システムの構築に役立てて頂ければ幸いです。(星本昭次)

右一撤去が進む倒壊危機の煙突(柏崎市クリーンセンター)
下一通行止めの規制がかけられた4m程完全陥没した道路



段ボールのリサイクルは
次世代の環境作り!!

循環型社会に最適な包装資材として今後とも
リサイクルの推進・向上に努めます。

段ボールリサイクル協議会

リサイクルシンボルの普及促進中!!

資料問合わせは事務局へ
詳細については日本段ボール工業会のホームページ
(<http://www.jcca.gr.jp>)で閲覧できます

東京都中央区銀座3-9-11 紙パルプ会館
(日本段ボール工業会内)

TEL03-3248-4851 FAX03-5550-2101

八号までの議案について
審議、すべて原案通りに
可決・承認している。

なお、次回の総会については栃木県の設置による開催が決まった。

「人材育成」テーマに講演

群資連青年部が設立30周年

群馬県再生資源事業協同組合連合会青年部(坂本龍介部長)は、十月十一日(日)に群馬県伊香保温泉のホテル木暮で、青年部設立三十周年記念式典を盛大に開催した。

来賓には群馬県環境政策課・堀口修課長、日資連・紺野武郎会長、関資連・細田益弘会長、群馬県中小企業団体中央会・東宮健次事務局長、日資連青年部・松本真行部長他、上岡克己会長はじめ親会、関東の各県協理理事や関東青年部員がお祝いにかけつけ盛りに上がった。

坂本龍介部長が関資連部長に就任して以来、坂本部長自ら惜しみない努力と行動力で群資連・関資連青年部の信頼を得ている。また記念式典開催にあたり一年前から片桐伸也氏を実行委員長に選任し、この記念式典を迎えることとなった。



群資連・坂本部長



【特別記念講演】式典に先駆け記念講演が行われた。

第一部は「中小企業における人材育成」と題し、雨宮利春氏(経営コンサルタント)が講演した。これまでの常識では考えられない大変な時代に人事環境の変化、求められ

条例の適法性認める

注目の裁判で「有罪」が確定

世田谷の古紙持ち去りに関する裁判で十一月二九日、東京高裁(長岡哲次裁判長)は被告側の「条例は憲法違反であり無罪」とする主張を退ける判断を示した。そのうえで一番、東京簡裁の罰金二〇万円を不服とした持ち去り業者の控訴を棄却し、有罪を維持した。

世田谷の事件をめぐっては、「条例の規定があまりに法的適正な手続きを保障した憲法に違反する」との業者の主張に対する司法の判断が分かれ、東京簡裁で7人が無罪、5人が有罪と全く逆の判断が出されていた。この日の判決では、東京高裁が初めて判断を示すものとして注目されていた。

被告側は条例について、①持ち去りを禁じる場所や行為がはっきりせず罰則規定として不明確②回収業者の営業活動の自由を制約し、職業選択の自由や生存権を脅かしている③古紙は所有権が放棄されたものであり、先に得た者の財産権を侵害しているとして主張していた。これに対し、長岡裁判長は「条例が禁止する行為や場所は(条文から)基準を容易に読み取れる」と述べ、罰則の規定は明確だと判断した。

持ち去り禁止が古紙回収業者の営業活動に与える影響も「何らかの規制が働くとしても限定的で、公共の福祉にかなう必要で、合理的なものだ」と認定。古紙の所有権については「(古紙を置いた区民は)一般的には回収で所有権を区に承継したものと考えられる」として、いずれも憲法に違反しないと結論づけた。

◆世田谷区清掃・リサイクル条例のポイント
区と区の委託業者以外の者が、集積所から資源(古紙・ガラスびん・缶)を持ち去る行為を禁止。持ち去り行為をした者に対して、持ち去り行為をやめるよう区が命令することができ、罰金二〇万円以下の罰金に処せられる。

◆世田谷区清掃・リサイクル条例(改正部分抜粋)
第二章 廃棄物の適正処理
第二節 指定する者以外の者の再利用の対象となる廃棄物の収集又は運搬の禁止等
(収集又は運搬の禁止等)
第三十一条の二 第三十五条第一項に規定する一般廃棄物処理計画で定める所定の場所に置かれた廃棄物のうち、古紙、ガラスびん、缶等再利用の対象となる物として区長が指定するものについては、区長及び区長が指定する者以外の者は、これらを収集し、又は運搬してはならない。

【編集後記】
暑い暑い夏が終わった。秋が来るはずなのに、まだ暑い。冬が来るはずなのに、まだ暑い。こんな長い夏は記憶にない。鉄くずの価格などは猛暑と言えぬ。アリとキリギリス。キリギリスが天寿を全うするまで冬が来ないと良いのだが。

(片岡 繁)

今日に至った。青年部を立に自民・民主党の大連立についての所感を述べながら、時の話題を題材に国民理解を得ようと熱血ぶりで講演した。

【三十周年記念式典】冒頭、坂本部長は次の要旨で挨拶を述べた。

「群資連の前身である群資協昭和四十九年の設立から三年後の昭和五十二年に業界の後継者育成と親睦を目的に青年部が発足した。それからの三十年に苦勞、曲折を経て今日に至った。青年部を支えて戴いた先輩方、親会の皆様、日資連、関資連、中央会、そして青年部員の方々に感謝致します。皆様の期待を超える青年部を目指し、続く四十周年、五十周年へと精進してまいります所存です」

【表彰式】表彰式が行われ、歴代部長の横田一夫氏、中島光弘氏、高橋保夫氏、片桐伸也氏、吉岡努氏がその当時の活躍をたたえながら表彰された。

来賓祝辞では堀口課長、紺野会長、細田会長、東宮事務局長から激励と期待の言葉が贈られ、最後に松本日資連部長が「青年部は刺激される場で、自分の仕事を外から見て、外の仕事を内から見て、自分の仕事を見たりして、外に役立て、信頼関係を育む場であり広げる場でもある。群馬の活力を日資連にもってきて欲しい」(要約)と述べ、記念式典は閉会した。

神奈川県資源回収商業協同組合

理事長 小松 敏和

〒220-0023 神奈川県横浜市西区平沼 1-40-17
モンテパルデ横浜 311 号室
TEL 045(313)6100・FAX 045(313)6161

東京都資源回収事業協同組合

理事長 新井 英一

〒220-0023 東京都千代田区三崎町 2-21-1
TEL 03(3263)3676・FAX 03(3263)3679

千葉県資源リサイクル事業協同組合連合会

会長 大塚 勝彦

〒260-0015 千葉県千葉市中央区富士見 2-22-6
富士ビル 5 階 A 号室
TEL 043(227)8273・FAX 043(227)2033

奈良県資源回収事業協同組合

理事長 山原 丈之

〒635-0095 奈良県大和高田市大中 106-2
経済会館 6 階
TEL 0745(23)2266・FAX 0745(23)2285

大阪府再生資源事業協同組合

理事長 今西 佳男

〒531-0061 大阪府大阪市北区長柄西 2-10-16
TEL 06(6351)6700・FAX 06(6351)6750

埼玉県再生資源事業協同組合

理事長 細田 益弘

〒338-0826 埼玉県さいたま市桜区大久保領家 343-7
TEL 048(852)9048・FAX 048(852)9075

栃木県リサイクル協同組合連合会

会長 谷 中 勝典

〒321-0345 栃木県宇都宮市大谷町 257
TEL 028(652)0245・FAX 028(652)0736

広告求む!

広告求む!